

**日本最大級の木造建築集団を目指す「フォレストビルダーズ」 第一回総会開催
4号特例の縮小により高度な技術が解放される「木造建築新時代」の幕開け
「木造建築都市（まち）の復興」で脱炭素社会と豊かな暮らしの実現を目指す**

株式会社AQ Group（本社：埼玉県さいたま市西区、代表取締役社長：宮沢 俊哉）が主導する日本最大級の木造建築集団を目指す「フォレストビルダーズ」は、第一回総会を1月23日にホテル インターコンチネンタル 東京ベイ（東京都港区）で開催しました。当日は初期メンバーに選ばれた加盟企業26社が一堂に会し、テーマ別成功事例などを発表。「木造は地球を救う。ともに、都市（まち）に森をつくろう」をスローガンに社会の潮流や今後の戦略を共有するなど、有意義な情報交換の場となりました。

**木造ビル開発の過程で生まれた「AQダイナミック構法」のさらなる拡大と
木造ビルの普及を可能にする「木のみ構法」を採用したAQフォレストの本格始動**



壇上で熱意を伝える代表の宮沢



26社の初期メンバーが真剣に耳を傾けた

「木造建築都市（まち）の復興」と「脱炭素社会の実現」をミッションに掲げ、昨年10月に発足した建築集団「フォレストビルダーズ」が1月23日、都内で総会を開催しました。当日は初期メンバーとして加盟した26社と10社以上の建築系専門メディアも参加し、大きな盛り上がりを見せました。

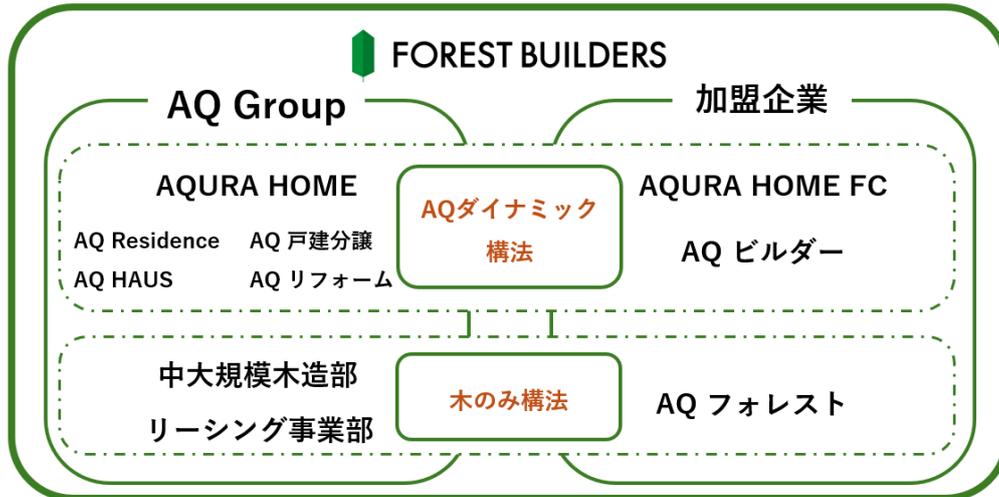
この「フォレストビルダーズ」発展の鍵を握るのは、木造ビル建築から生まれた「圧倒的な大空間と設計の自由度」を高耐震で実現する弊社オリジナル構法「AQダイナミック構法」と軸組工法をベースに「超高耐震な木造ビル」を普及価格で実現する新構法「木のみ構法」という2つの技術です。

「AQダイナミック構法」は3階建て以下の低層木造建築に適用。一般流通材を組み合わせ高倍率耐力壁や高倍率水平構面を実現させ、不要な基礎、壁、柱を削減させたもの。安価で強い耐震性能と自由な間取りを可能にしています。一方「木のみ構法」は4階建て以上の中層木造建築に使われる技術です。「AQダイナミック構法」の知見を活かし「合板耐力壁」や「組子格子耐力壁」など、30～40倍相当の高倍率耐力壁を開発したことにより、大空間が確保できるようになりました。

2つの構法に共通するのは高い自由度と可変性、耐震等級3、普及価格帯です。フォレストビルダーズではVC組織として、「AQダイナミック構法」を採用して3階建て以下の木造住宅建築を手掛ける「AQビルダー」と、「木のみ構法」を採用して4階建て以上と低層中規模木造建築を手掛ける「AQフォレスト」があります。「AQビルダー」は「フォレストビルダーズ」発足以降、初期メンバーとして既に12社が加盟。現在でも加盟に関する問い合わせが多数あります。また、今回の第一回総会では中層木造建築を普及していく「AQフォレスト」の本格始動を発表。より一層、木造建築都市（まち）の復興に向けた動きが加速します。

初開催となったフォレストビルダーズ総会には、10社以上の建築系専門メディアも参加。業界にとって大きな注目の的となっていることがうかがえます。

昨今よりトレンドの木造建築マーケットに参入。
建築集団 600 社以上を牽引してきた AQ Group の集大成



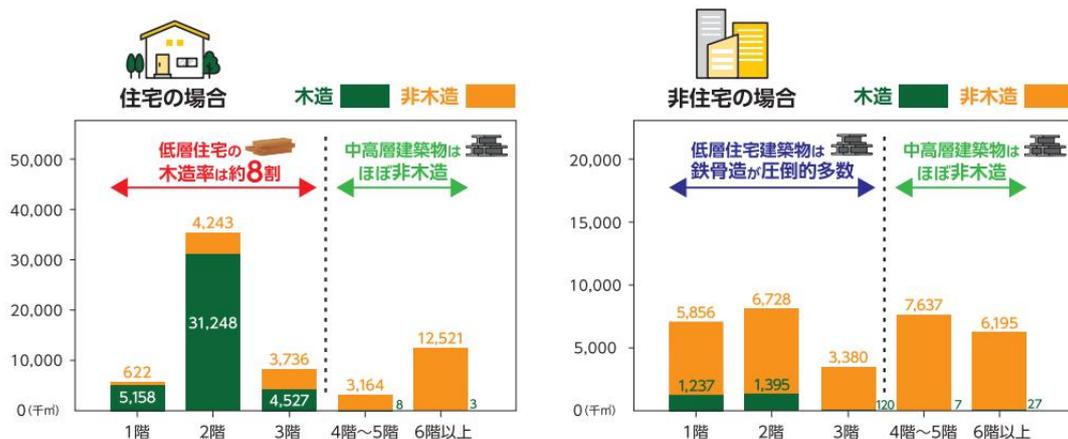
弊社は創業以来「大きなミッションも同じ志のある作り手が賢く連携すれば成し遂げられる」と考え、工務店ネットワーク JAHBnet (ジャープネット) ※1 や SABM (スマートアライアンスビルダーメンバー) ※2 を発足させてきました。特に JAHBnet が設立された 1998 年は、大手ハウスメーカーが市場を席卷。多くの工務店が下請けを主業とした厳しい経営を続ける中で、工務店にとって必要な経営支援などを展開した結果、JAHBnet 加入工務店は最大 631 社に。累計棟数は 16 万棟を超え、時代に合わせた形で工務店経営の後押しを続けたことが住宅業界に大きなインパクトを与えました。

このほど新たにスタートした「フォレストビルダーズ」は、経営支援にプラスして標準化された技術(構法)で結束できるという利点があります。2025 年 4 月の建築基準法改正に伴う 4 号特例の縮小により、各工務店は構造計算など更なる技術力が必要不可欠になりますが、技術で結束する「フォレストビルダーズ」はこの法改定をチャンスに捉えることができます。高度化した木造技術が使えるようになり“賢い連携を図ることができる”というのも加入のメリットです。

これは、15 歳で建築の世界に飛び込み、常に匠の技術の世界に身を置いてきた元大工で弊社代表を務める宮沢ならではの視点と言えます。「AQ ダイナミック構法」と木のみ構法は弊社が長年に渡り研究開発を続けてきた木造建築技術の結晶であり、「フォレストビルダーズ」は集大成です。

この「フォレストビルダーズ」が参入するマーケットは、日本国内における非木造の住宅ならびに非住宅。木造建築は昨今、住宅業界トレンドとなっています。「フォレストビルダーズ」としては、このトレンドマーケットをいち早く席卷するため、まずは早期に加盟企業 100 社体制を目論みます。さらに、2030 年には受注戸数 20,000 戸を実現させ、日本一の木造建築集団を目指していきます。

用途別・階層別・構造別の着工建築物の床面積



建築物市場の着工面積は**非木造が過半数を占めており、**
環境にも優しい木造を高めることは大きなビジネスチャンス!



木造新時代の幕開け。日本、世界のスタンダードになる技術を目指して
「木造は地球を救う。ともに、都市に森をつくろう」

かつて、日本は法隆寺や五重塔に見られるように、圧倒的な技術力を持つ木造建築大国でした。しかし、1923年の関東大震災で13万戸の家屋が全壊、44万戸が焼失しました。さらに、1959年の伊勢湾台風の被害を鑑み、建築物の火災・風水害の防止策として、特に危険の著しい一部地域の建築制限のひとつとして「木造禁止」が提起されました。街のほとんどがコンクリートや鉄骨で建築され、日本の街並みの中に木造中層建築物は見られなくなりました。そして100年後、現在では地球規模の課題であるカーボンニュートラル社会の実現や循環型地域社会の構築に向けて、木造建築は世界中から注目を集めています。

弊社は1978年の創業以来、木造建築に従事。木造戸建て注文住宅からスタートし、中大規模木造建築へと技術開発領域を拡げていきました。長きにわたる探求の結果、2022年に純木造5階建てビルモデルハウス、2024年に純木造8階建て本社ビルが完成。実証実験の末、「AQダイナミック構法」と木のみ構法という技術も誕生しました。この2つの技術は誰もが、強くて自由な家を安価で建てられる“未来構法”呼べるものです。

さて、2025年は新築基準法の改定で住宅業界にとっては大きなターニングポイントとなります。「木造建築都市（まち）の復興」と「脱炭素社会の実現」を掲げ、高度な技術が解放される「木造建築新時代」の幕開け。「フォレストビルダーズ」を通して、「AQダイナミック構法」と「木のみ構法」が日本の、世界のスタンダードとなるべく、邁進してまいります。



FOREST BUILDERS

※1 JAHBnet（ジャーブネット）：ジャーブネットは全国の工務店・ビルダーなどが加盟する工務店ネットワーク組織。AQ Groupが94年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。これまでに約2800社の全国の工務店に導入されると共に、98年に（財）日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」（現ジャーブネット）を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとして「良質な住宅を適性価格」で提供。

※2 スマートアライアンスビルダーメンバー(SABM)：AQ Groupが設立した、日本一を目指すビルダー集団。



AQ Group

<本件について報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

株式会社AQ Group 広報課 青木 佐藤

TEL : 048-620-4536

Email : aqura_pr@aqura.co.jp

AQ Group Website : <https://www.aqura.co.jp/>